

2024年4月吉日

BIPROGY 研究会
関西支部・北陸地区支部 会員各位

BIPROGY 研究会
関西支部・北陸地区支部 事務局

2024年度 研究活動 参加者募集のご案内

拝啓 日頃よりBIPROGY研究会活動にご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。BIPROGY研究会では会員の皆様が日常業務の中で抱えている課題や社会課題等を研究テーマとし、テーマに関する知見を取得するのみに留まらず課題を克服すべく仮説を立て検証し、研究活動成果を報告書として取り纏め発表していただく、研究活動を行っています。

ビジネスヒントの発掘や企業の枠を超えた人材育成、異業種交流の場という目的としてご活用ください。活動を通じて自社へ活動成果をしっかりと持ち帰っていただけるように、研究グループ毎にBIPROGYグループ社員によるアドバイザー制度や運営メンバー、事務局によるフォローをしっかりと行っていきたいと思います。

会員企業のマネジメント層の方、およびリーダー・担当者クラスの方々は、下記要領にてお申し込みをお待ち申し上げます。

敬具

1. 研究活動の目的：

- ・異業種交流(社外の年齢や経験、役職の枠を超えたメンバーとの交流)
- ・人材育成(課題解決、仮説検証、チームビルディング、プロジェクトマネジメント、ファシリテーション、ドキュメンテーション、プレゼンテーション、コミュニケーション能力の向上)
- ・業務外分野探求への挑戦(失敗を恐れずチャレンジできるプロジェクト)
- ・働き方改革による新しい活動形態への挑戦
- ・活動成果の社外への発信(発表会やWeb掲載を通して参加者・参加会社の知名度アップ)

2. 研究テーマ:

下記キーワードと検証例より3つご希望をお伺いし、事務局にてグループとテーマを調整いたします。

ご参加いただくにあたって、単なる知識を得るための勉強会ではなく、その知識を活かして課題を如何に解決していくかという『研究活動』を通じて成果を出すことを目的としております。

No	キーワード	推薦理由ならびに活動内容	テーマ(課題)の例	検証(解決手段)の例
1	高齢化社会に向けたヘルスケア・ウェルネスケア	高齢化に伴う社会保障費の増大、医療・介護現場のマンパワー不足等の課題に対し、健康維持や生活の質を向上させるための取り組みが注目されている。	介護、well being、ウェアラブルデバイス、オンライン診療、電子カルテ等	Web3.x(メタバース、アバターを含む) トータルエクスペリエンス AI(ChatGPTを含む) サイバーレジリエンス グリーンテック ITとOTの融合 クラウド利用 ハードウェア作成 アプリ作成(ローコードを含む)
2	少子化・子育て支援、教育・育成	少子化については、子ども同士のふれあいの減少等により自主性や社会性が育ちにくいといった影響や、年金などの社会保障費用に係る現役世代の負担の増大、若年労働力の減少等による社会の活力の低下等の影響が懸念されている。こうした状況を踏まえ、少子化の原因や背景となる要因に対応して子ども自身が健やかに育っていける社会、子育てに喜びや楽しみを持ち安心して子どもを生み育てることができる社会を形成していくことが必要である。 教育・育成については、子どもに限らず、大人をターゲットにしても良い。	保育園(事故、入園待ち、等)、学童保育、PTA等の活動負荷、共働き、家事/育児、教育/育成等	他のIT技術の活用 非IT※
3	コミュニケーション(家族、友人/知人、地域、等)、働き方改革	コミュニケーションとは情報伝達や意思疎通などの表現、また意思を伝え合う、交流を図るなどの行動を指す言葉のこと。コミュニケーションに関わる問題や課題解決を研究する。 新型コロナウイルスの影響で、随分と働く環境が変わり、その後も継続している。まだまだ働き方に課題があると思われる。それらの課題を見つけ、より良い働き方を見つけることが求められている。	会社の同僚、同級生、クラブ/サークル、家族/親戚、労働環境・制度、等	※非ITは少ないが、過去の例としては、

4	イベント(大阪万博、旅行、グルメ、等)・ボランティア	<p>・2025年4月13日～10月13日(184日間)、夢洲(ゆめしま)を舞台に、“いのち輝く未来社会のデザイン”をテーマに掲げ開催が決定。入場者予想は約2,800万人、経済波及効果として約2兆円が見込まれる中、関西が誇るライフサイエンスやバイオメディカルの進展、若手クリエイターの創出等が期待される。</p> <p>またイベント等ではボランティアの募集があるものの、メンバー不足やメンバーの高齢化、活動資金の不足である事が多くなっている。また、最近では偽ボランティアによる募金詐欺などの事件も発生しており、ボランティアに対するイメージの悪化を招きつつあるため早急な対策が求められている。</p>	大阪万博、ビジネスショウ、XXフェス、旅行、インバウンド、オーパーツリズム、XXゲーム等 ボランティア(障害者、震災、ゴミ拾い、等)、募金活動(クラウドファンディング、オークション、等)	紙芝居、マニュアル／ガイド、カードゲーム、等
5	災害／防犯対策	いつ、どこで起こるか分からない災害／防犯。課題解決の可能性を探っていく。	自然災害、パンデミック、事故、犯罪、いじめ、ハラスメント、等	
6	人生100年時代、人生を楽しむための趣味等の向上	100歳以上の人口は年々増加しており、「人生100年時代」が現実味を増してきた。年を重ねても充実した生活を送るために、日々どのようなことに気をつけたらよいだろうか？	人生計画／将来象、ライフスタイル、健康寿命、バケットリスト、資金運用(金融リテラシー向上)等	
7	DX(デジタルトランスフォーメーション)	企業が、ビッグデータなどのデータとAIやIoTを始めとするデジタル技術を活用して、業務プロセスを改善してだけでなく、製品やサービス、ビジネスモデルそのものを変革するとともに、組織、企業文化、風土をも改革し、競争上の優位性を確立することが求められている。	物流DX(物流事業者の人手不足/労働環境)、ドローンの活用、AIによる予測モデルの活用、画像分析による自動化等	
8	SDGs(環境問題、フードロス等)	「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」として貧困、不平等、気候変動、持続可能な開発など、世界が直面するさまざまな社会的・経済的・環境的な課題に取り組むことを目指す。	脱炭素社会、カーボンオフセット、余剰食糧の寄付、廃棄食材からの新技術開発等	
9	その他	上記以外のテーマ	-	

3. 参加資格：

BIPROGY 研究会会員企業(企業の方であればどなたでも参加いただけます。)
主体的に取り組む意欲のある方を募集いたします。

4. 参加費用：

① 本年度研究活動費

* 参加人数に係わらず、1企業あたり、¥20,000

* 参加メンバー確定後、「連絡責任者」へ参加費用をご請求させていただきます。

② 活動のための移動交通費、宿泊などの経費は参加者の負担とさせていただきます。

5. 申し込み方法：<https://form.biprogy.com/public/seminar/view/31169>

上記、申し込みサイトよりお申し込みください。

■ お申し込み締切日：2024年5月17日(金)

6. 研究活動の運営について：

① グループ活動は1チーム5～7名程度とさせていただきますが、お申し込み状況によって判断させていただきます。

* 異業種交流の観点から同じチームに同じ会員企業様が入らないよう調整させていただきます。ご希望のテーマとならない可能性もございますのでご理解の程、よろしく願いいたします。

② 主体はご参加いただく皆様です。

基本的にはグループに参加された方の自主活動で日中の業務時間内での会議が中心となりますのでご了承ください。

また、BIPROGYグループもアドバイザーとして皆様の活動を支援いたします。

7. 活動期間と今後の予定：

① 本年5月より3月末まで研究活動でグループにより差がありますが

日中の通常業務時間内でグループ単位にて調整いただく会合として月2回程度の会合を見込みます。

活動のテーマにもよりますが、活動自体の回数、時間を多く費やすことは決していいことではありません。

ご自分の業務に支障をきたす活動は本来の活動の形ではありませんので、参加者が活動しやすいよう、社内調整やバックアップにご協力頂きます様お願い致します。

テーマ選定にあたっては、テーマに関しての知見取得に時間を費やし、ストーリーを組み立てられなくなるように、グループ内で工夫して頂き、アドバイザーの助

言を得ながら進めてください。

- ② 発足式及び第1回目会合：**5月29日(水) 15:00 から BIPROGY 関西支社にて**
関西支部・北陸地区支部で成立したグループの第1回目の会合は発足式後に予定しております。詳細はお申し込み頂いた方にご連絡いたします。
- ③ サマースクール：
各グループリーダー、サブリーダーを対象に8月下旬から9月上旬にグループの中間報告をしていただくサマースクールを開催予定です。
- ④ 活動報告書提出：
来年1月下旬に活動成果を「研究活動報告書」として提出していただきます。
* 研究活動運営委員の皆様により、活動報告書の表現力・構成力はもとより、
実用性・有効性、先進性・独創性・独自性などの面を考慮して査読審査をさせていただきます。
- ⑤ 発表会：
来年3月7日(金)に「研究活動成果発表会」としてグループメンバー以外の方々に
向けて発表をしていただきます。

8. お問い合わせ先：

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB
BIPROGY 株式会社 関西支社内 BIPROGY 研究会関西支部事務局
担当：富山(とみやま)・荒木(あらぎ)・山内(やまうち)・孫(そん)
e-mail：biprogy-ken-kansai@biprogy.com

9. その他：

ご報告いただいた研究活動成果(研究活動報告書、プレゼン資料その他資料を含みます。)の著作権は著作者に帰属するものとします。但し、著作者は、BIPROGY 研究会が情報発信する機関誌や Web サイトにおいて、著作者の研究活動成果の掲載・配布に関する権利(個人名・会社名・所属先の公開を含みます。)を BIPROGY 研究会に無償で許諾するものとします。

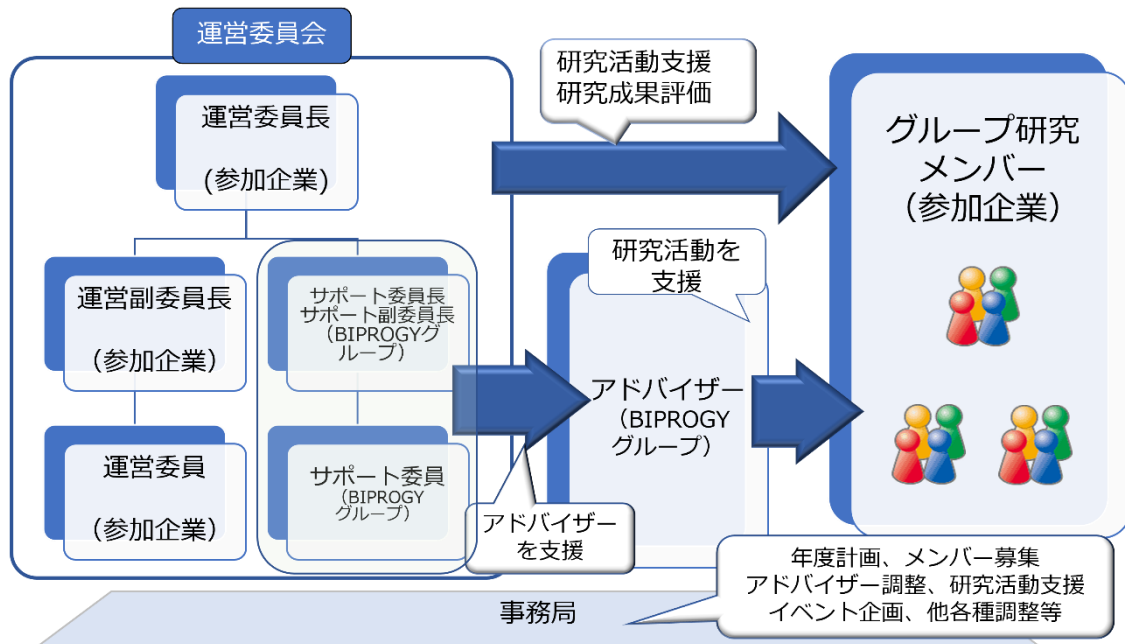
この時期、会員様のご担当者の変更手続きが間に合わずに以前に登録された方へお送りしてしまう場合がございますが予めご容赦いただきますようお願いいたします。

以上

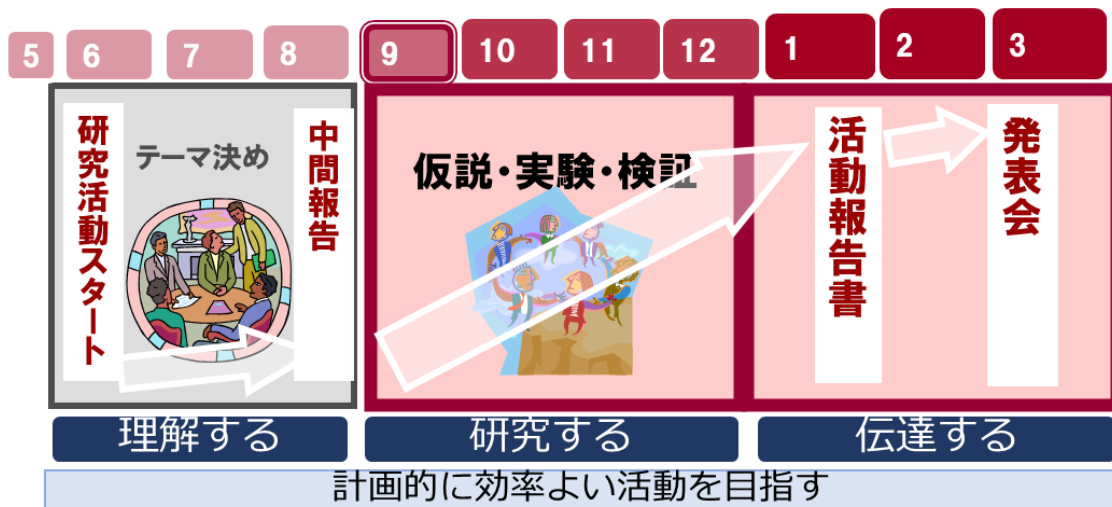
(添付)

■ 研究活動を支える体制

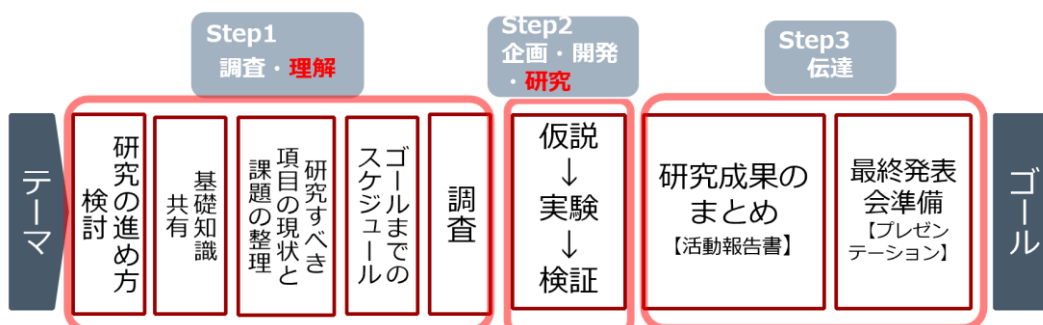
- 皆様の研究は、運営委員、サポート委員、アドバイザー、事務局が支援



■ スケジュール



■ 研究活動とは



(添付)

サマースクールの様子



発表会の様子

